

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：山の神沼を守る会

代表者：会長 杉崎隆男

URL :

1. 活動が必要とされた状況

山の神沼は、近隣の宅地化の進展に伴う生活排水等の流入により水質が悪化し、沼にアオコが発生するなど、水環境を改善することが急務となっている。平成 27 年度は水辺の湿生植物園に繁茂するヨシを整理して蓮(ハス) 苗を植栽し、沼に流入する水浄化をはかるとともに、市民の散策路の環境改善をはかることが必要とされていた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

湿生植物園に繁茂するヨシと雑草を刈り払い、人力では除きがたいヨシ根茎を業者の重機により約 30cm 掘削抜根した（5 月 20 日、写真；左）。土を入れ替え、ヨシ根防止シートを設置した。その後 6 月 2 日に渋谷農園（蓮田市上平野 渋谷 弘社長）から無償供与された「古代ハス」の植栽を会員 7 名で行った（写真；右）。また水路を確保した。



3. 活動の成果

植栽 2 週間後、「古代ハス」の活着を認め（写真；左）、「山の神沼を守る会」の総会（6 月 14 日、蓮田市中野市長、市議会議員、石井県会議員ほか 18 名出席）で、サイサン環境保全基金の助成と会員の協力で成果の挙げたことを報告した。古代ハスの花（写真；右）は、次年度にたくさん咲くことが期待される。



4. 今後に残された課題

山の神沼の本質的な水浄化を目指して、小島教授（群馬高専）のご指導の下、新機能炭素繊維システムを新たに構築することが今後に残された課題である。